

修 士 論 文 の 和 文 要 旨

| | | | |
|--|------------------------------|------|---------|
| 研究科・専攻 | 大学院 電気通信学研究科 博士前期課程 システム工学専攻 | | |
| 氏 名 | 新屋 篤志 | 学籍番号 | 0835024 |
| 論 文 題 目 | 短ライフサイクル時代の在庫管理法についての研究 | | |
| <p>要 旨</p> <p>在庫計画は、サプライチェーンにおける最適化の中で、もっとも厄介で重要なものであり、在庫削減は重要な経営課題とされてきた。経営のスピード化が進む昨今においては、その重要性が益々増してきている。</p> <p>近年開発された流動数管理ロジック[1][2]による在庫管理ソフト ODICS(商品名：OptStock/LOG)では、3 種のパラメータを用いて発注量を制御することで在庫の最適化を図り、様々な事例研究に伴ってロジックの改良を行ってきた。</p> <p>しかし、先行研究における管理対象製品は、ライフサイクルが中長期と考えられ、過去の需要データを持ち得るものであったが、短ライフサイクルの新製品においては、過去の需要データが存在しない。発注量を制御するパラメータは、各製品の持つ需要データに合致するものとして探索されるために、これらの製品においては、そういった手法を用いてパラメータを決定することが困難である。</p> <p>本研究は、こうした問題を加味し、短ライフサイクルをもつ新製品への ODICS を用いた管理法について考える。ここでは、ライフサイクルが短いということは即ち需要傾向の切り替わりが激しいことを意味するという点に着目し、発注量をよりフレキシブルに制御するために、適切な期にパラメータを変更させるべく、ODICS の改良及びその効果の検証を目指している。</p> | | | |